

原作は、今そこにある現実

現在進行形の日本の現実に密着した政治エンタメ映画

解説

映画はその時代を映す。

今、米で「シビル・ウォー」が大統領選挙の年に公開され大ヒットしていることもその最も分かりやすい一例だ。

この映画「掟」は劇映画でありながら現在進行形の現実に並走するように制作された。

そして都知事選の開票結果が出た直後に完成、情報解禁という現実への密着ぶりは異例中の異例である。

企画が立ち上がり検討に入ったのが3月。安芸高田市の石丸伸二(当時)市長をモデルとした

劇団トラッシュマスターズの2月公演「掟」、

その脚本を映画プロデューサー**奥山和由**が目にしたところから企画が立ち上がった。

演出家、**中津留章仁**による戯曲。

政治に対する深い洞察力を持った鋭い表現に惹かれたという。

さらにブラックユーモアに溢れるエンタテインメントとして見事な成立を果たしている。

この脚本を映像化して、現在進行形の現実のコンセントに繋いだ映画を作りたいと。

そこからは迷うことなくアクセルを踏み続ける。

設立されたばかりの配給会社サンタバーバラ・ピクチャーズに持ち込み、最も早いタイミングでスタートをされる劇場探しを依頼。

そして**8月30日公開**初日が実現。

プロデューサーの奥山は言う。「この企画はタイミングが命。世の中の政治に対する問題意識が芽生えるはずの都知事選、

その時を外してしまったら作る意味のない企画」

かくして製作から公開までが超高速で実現、なんと企画検討から公開まで半年をきるという異常事態だ。

まさに賭けである。スター映画でもアニメ原作でもシリーズものでもない。無謀ともいえるこの賭けの結果は？

映画は時代が産み落とす生き物、また観客やメディアによって育てられるもの。その反応は？



物語

この映画のストーリーは**石丸伸二**氏をモデルとした主人公、高村清也が市長選挙に立候補することを

思い立ったところから始まります。そこからは**現実と並走した「フィクション」**です。

敢えてフィクションと謳うことによって、人間と政治を深掘りし、**ブラックユーモア溢れる政治エンタメ映画**にしました。

そしてこの映画のEndマークは都知事選の現実の結果です。



○企画・製作 **奥山和由**

代表作「ソナチネ」「GONIN」「226」「ハチ公物語」「その男、凶暴につき」「いつかギリギリする日」「地雷を踏んだらサヨウナラ」など。また「うなぎ」でカンヌ国際映画祭パルムドール賞、「ハチ公物語」「外科室」で2度の藤本賞、エランドール賞など受賞多数。監督、脚本家としても「RAMPO」で日本アカデミー賞優秀監督賞、脚本賞、他

海外の映画賞を多数受賞。

そして、映画ファンなどの立案による出資形態の改革を推進し、北野武、竹中直人、秋元康、坂東玉三郎から行定勲、藤井道人まで新人監督の発掘育成に尽力したことで知られる。スクリーンインターナショナル誌100周年記念号では日本人唯一人、世界の映画人100人に選ばれた。



○脚本・監督 **中津留章仁**

劇作家・演出家 1973年生まれ 大分県出身。

TRASHMASTERS主宰。

2000年にTRASHMASTERSを旗揚げ。以降、全ての作品において劇作・演出をつとめる。現代社会の抱える問題点と、魂を揺さぶる骨太な人間ドラマを描く作風が持ち味。

<主な受賞歴>

第46回 紀伊國屋演劇賞個人賞 受賞

第14回 千田是也賞 受賞

第19回 讀賣演劇大賞選考委員特別賞「背水の孤島」受賞

第19回 讀賣演劇大賞優秀演出家賞 受賞

第20回 讀賣演劇大賞優秀演出家賞 受賞

※ 映像作品の演出は今回が初めてとなります。



「掟」公式サイト